

令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学校名		岡山県立笠岡商業高等学校		
実践者等		奥山瑛介	実践日	令和4年6月29日
実践場面 <small>(教科・科目(単元名)、学校行事等)</small>		保健体育・保健・医薬品と健康		
対象生徒(学年等)		高校2年生		
育成を目指す資質・能力		<input type="checkbox"/> 知識・技能 <input checked="" type="checkbox"/> 思考力・判断力・表現力等 <input checked="" type="checkbox"/> 学びに向かう力・人間性等		
分類	授業中	<input type="checkbox"/> クラウドやアプリの活用 <input type="checkbox"/> デジタルデータの保存 <input checked="" type="checkbox"/> 思考やデータの可視化		
		<input type="checkbox"/> データの共有や共同編集 <input type="checkbox"/> 対話を充実させる活用 <input type="checkbox"/> 思考を促す活用		
		<input type="checkbox"/> 表現を充実させる活用 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のやり取りと評価の支援 <input type="checkbox"/> 効率化や省力化		
		<input type="checkbox"/> その他()		
	家庭学習	<input type="checkbox"/> 振り返り <input checked="" type="checkbox"/> 探究 <input checked="" type="checkbox"/> 反転学習 <input type="checkbox"/> 補習・定着		
実践の内容				
<p>○単元名【薬物乱用と健康】2時間 1時間目：一斉授業を行い、基本的な知識と時事問題と絡めて実社会での薬物乱用の課題を提示する 2時間目(本時)：家庭学習として、生徒一人ひとりが授業を受けて興味を持った内容について各自でスライドにまとめ、授業内でグループ内プレゼンを行う。</p> <p>○進め方の工夫やポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1時間目の授業の中で、探究学習のポイントを示す工夫をし、授業のまとめとして授業のテーマ(今回は薬物乱用)についての社会の課題は何か考え、発表させる ・ スライドは3枚のフォーマットをあらかじめClassroomの課題として生徒に配布しておく。授業後、各自課題の提出をさせる(スライド提出◎) ・ 4人グループでのプレゼン後、どのようなことが社会の課題として考えられるか話をさせることで、多面的に思考させるとともに、自身の意見ももてるようにする。その後、意見をノートにまとめて提出する。(ノート提出★) <p>○評価について</p> <p>◎スライド提出⇒【関心・意欲】 「分かりやすさ」「内容」「視点の鋭さ」についてルーブリックに示し採点して返却</p> <p>★ノート提出⇒【思考・判断】 「論理性」「学習内容の理解度」についてルーブリックを示して採点</p>				
<p>【本時と家庭学習との連動】 (本時前)スライドの準備</p> <p>(本時後)特になし</p>				